

～研修医日記～

Vol.16 『脳筋！？』 — 脳筋研修医編 —

～脳筋～それ即ち頭まで筋肉になってしまっているということである。

通常脳みそは白みそや赤みそとは違い、数々の神経細胞が散りばめられ、1日中電気信号が飛び交い、体全体のエネルギーの約20%も消費している。起きている間、いや体が休んでいる間でも細胞たちによる活動は絶え間なく続いており、人間において無くてはならない臓器である。彼はそこが筋肉なのである。横紋筋なのか平滑筋なのかは定かではない……肉腫ではないかという説もある……

この日記は思考を放棄し、本能のおもむくままに体を動かすことしか取り柄のない新米研修医の1ヶ月を記録したものである。

4月X日

その日、彼はナースステーションにいた。初の大仕事、コロナ抗原検査を行うためである。思考ができない彼はそばにいた若くてスタイルのいい看護師さんに話しかけることにした。

脳筋研修医:「すみません、、スリーサイズを教えてください……あつ、間違えた💧💧(いかん……つい本能がっ……💧)コロナ抗原検査なんですけど、、どないするんでしょうか？」

看護師:「この検査キットと、ガウンとN95マスクをつけてください」

脳筋研修医:「はい！」

(装着中)

脳筋研修医:「できました！」

看護師:「、、、笑笑笑笑笑笑、、先生、ガウンの長袖を後ろ結んでます……(な、な、なんてイタイ奴なんだ！？笑笑笑)。」

脳筋研修医:「す、す、すみません、、、。(な、なにに！？てっきり筋トレをしている時のように、タンクトップのようにして腕を出せばいいものと思っていた。いかんいかん、ここは病院か。俺としたことが……💧)」

脳が火を吹くように熱くなっているのを感じた。彼人生初めての脳筋パンプアップである。

(彼は病院とジムを混同させないことを覚えた。脳筋のレベルが1upした)

～脳筋研修医の日常～

ここで彼の普段の生活をのぞいてみよう。彼は研修医室で病棟管理という名の脳筋トレを行っている。やり方は至ってシンプルだ。椅子に深く腰掛け、パソコンを開いて聞いたことも見たこともない理解不能な業界用語が羅列したカルテを眺める。これだけである。もちろんその時、上司の先生方は手術や真の病棟管理に励まれている。しかし、何を勘違いしたのか彼はこれを大仕事であると誇りを持って取り組んでいる。やはりどこまでもイタイ奴だ……💧
是非研修医室で彼を見かけたら一喝入れてあげてほしい。

4月Y日

その日彼は偉大なる外科大部長と、尊敬してやまない天才外科医との手術に入っていた。今日の対戦相手は、胆嚢である。こいつは厄介である。筋肉量は彼の足元にも及ばないが、それ故に、薄く、破れやすいのである。集中して取り組まないと、こいつから汁が飛び出すことになる。彼は重役であるカメラ持ちを任されており、その日も彼の趣味である盗撮用のカメラと勘違いして一層の気合が入っていた。

天才外科医:「……。 (チヨキチヨキ、ザグザク、) ……」

脳筋研修医:「(す、すごい！！なんだこの速さと正確性は。みるみるうちに胆嚢が剥がされていく。この人にかかれば胆嚢なんて容易いものなのか。きっと私生活でもオネエちゃんのをいとも容易く剥がしているんだろうなあ～～！！ おっと、また妄想癖がでてしまったあ～～！！ いかんいかん、俺もさらに集中しなければ。)」

外科大部長:「あー、そこそこ、そのスケスケの膜あるやろう。それを切っていけばええんよ。スケスケの。(マスクの下はややニヤけている)」

天才外科医:「分かりましたー。(チヨキチヨキ)」

脳筋研修医:「……。 (な、な、なにい～～！？ス、スケスケだとお！！スケスケというのはあの事を言っているのであろうなそうだよな。いやあそんなはずはない。偉大なる大部長がそんな事を言うはずがない。集中。集中。)」

外科大部長:「スケスケの膜は切っても出血せんしなあ～。脳筋研修医もスケスケは好きやろう？
❤️」

脳筋研修医:「(た、た、確かにスケスケは好きだ。いやしかし、この場で俺の考えるスケスケを話しているはずがない。俺は天才外科医に追いつくために一層集中しなければならないのだ。そのような不純な考えなどあってはならない。集中するんだ、、集中だ、集中だ！！あああ～～～っ、でもやっぱり本能に抗って嘘はつけない～～～！！)」

「大好きです！！！！。❤️❤️❤�」

天才外科医:「脳筋研修医退場！！ 出口は向こうやで。」

脳筋研修医、終了のお知らせである。

脳が筋肉であるために制御がきかないのである。

(彼はこいいう話をする時が1番脳筋を鍛えられると自覚した。よって脳筋レベルはリセットされてしまった…………)

Epilogue

以上ここまで脳筋研修医の1ヶ月をざっと紹介してきた。ここで紹介した記録はほんの一部ではない。まだまだ数々の記録が残っているが彼の名誉のために伏せさせてもらう。

彼は今も尚、脳が筋肉に侵されていつている。彼が正常な脳を手に入れる日は来るのであろうか。しかし、彼はそんなことは微塵も考えていない。ただ目の前の仕事という脳に負荷のかかるダンベルを確実に挙げているだけである。

彼は今もどこかで脳筋のトレーニングに勤しんでいることであろう。

【変集者後期】

初々しくもありイタくもある脳筋研修医の奮闘記である。

脳は筋トレをするとピンク色に染まっていくのであろうか？♡♡♡……という疑問が浮かんでしまう脳筋研修医の日常である……💧

『品行方正』『聖人君子』をモットーとする当科としては、いかんともしがたい状況である。

しかし医者になってまだわずか2か月、、、イタい予防衣の着用法や品のない会話など、失態はこれから先もたくさんあるだろう。今後はそれらを糧に正しい脳トレをして、まっとうな外科医への道を歩んでくれることを切に願う今日この頃である……。

出来ました〜！！



な、な、なんて
イタいやつ...

